

水痘（みずぼうそう）

○どんな病気？

水痘は、水痘・带状疱疹ウイルス（varicella zoster virus:VZV）の感染による皮膚感染症です。一般には「みずぼうそう」として知られています。全身どこにでも小さな水泡をもった発疹がでる病気です。

○感染経路：感染力は非常に強いです。

- ・飛沫感染（咳やくしゃみに含まれるウイルスを鼻やのどの粘膜、眼球粘膜に付着して体内に侵入）
- ・接触感染（水疱の排出物に接触することによる感染、タオルの共有や入浴時に接触など）
- ・空気感染（空気中に浮遊しているウイルスを吸入することで感染）

○潜伏期間は？

10ー21 日間（通常は 2 週間）

集団生活の場での流行の有無は大切な情報です。

○どんな症状？

発疹は、虫さされ様の紅斑（小さな赤い発赤）→丘疹（少し盛り上がった発疹）→水疱を形成（発疹部に水をもつようになる）→痂皮形成（かさぶたを作る）と変化します。かゆみを伴います。このような発疹が数日にわたって次々と出現するので、いろいろな段階の発疹が同時にみられるのが特徴です。（新旧混在）

また、一晩で全身にひろがるのも特徴の一つです。

発疹は全身性で顔、体、手足、頭皮、外陰部、肛門などあらゆる場所に出ます。

発熱を伴うこともあります。

○合併症

- ・皮膚の二次感染

発疹部を掻いてしまったり、こすったりして、黄色ブドウ球菌などの細菌感染をおこしてとびひ（伝染性膿痂疹）になることがあります。

- ・急性小脳失調症

けいれん、意識障害、歩行障害などを認めることがあります。

○治療

- ・飲み薬：抗ウイルス薬を発病後 48 時間以内に開始し、5 日間内服することで症状を軽くすることができます。
- ・塗り薬：かゆみ止めとして、水疱や紅斑などの発疹部にフェノール亜鉛化リニメント（カチリ）を塗布します。綿棒などで発疹の上に塗ります。すでにかさぶたになった発疹には塗る必要はありません。

○登園、登校はいつから？

水痘は、すべての発疹が痂皮形成（かさぶた）するまでは感染力があるため、

「すべての発疹が痂皮形成するまで」出席停止です。登園・登校許可書が必要となります。

○予防接種

定期接種で、標準的な接種期間は、生後 12 か月から 36 か月の間で

1 回目は生後 12 か月から 15 か月

2 回目は、1 回目接種終了後から 6 か月の間隔をおく、となっています。

1 歳になったら、すぐ受けましょう！